

# 地域生活を支える「暮らしと就労」の 新たな考察について

社会福祉法人けやきの杜

常務理事・総合施設長

大竹 眞澄

平成28年6月24日

# 地域で暮らすための三点セット

1、「就労の場」「日中活動の場」

2、「居住の場」

3、「地域活動と地域生活を支えるサービス

# 暮らしの場の実態

## 1、GHの高齢化

- ・通院回数の増加
- ・高齢化の加速

## 2、一人暮らし

- ・高齢化・疲労感・健康管理

## 3、親との同居

- ・老障介護の限界
- ・親亡き後のサービス

# 就労・活動の実態

## 1、就労

- ・短時間労働の定着 ・障害間の労働条件の格差定着
- ・特別支援学校からの就職増 ・離職者の孤立化

## 2、活動

- ・NPO法人や企業の参入 ・工賃向上計画 ・優先調達法
- ・65歳問題 介護保健への移行

# 平成25年度障害者雇用実態調査(厚労省)

- 1、身体障害者 1か月平均21万1千円(超勤除く)
  - 通常(30時間以上) 25万1千円 構成比率81.8%
  - 20時間以上30時間未満 10万7千円 構成比率12.0%
  - 20時間未満 5万9千円
  - 支払い形態 月給58.8% 日給4.8% 時給32.6%
- 2、知的障害者 1か月平均10万6千円
  - 通常(30時間以上) 13万0千円 構成比率61.9%
  - 20時間以上30時間未満 8万7千円 構成比率26.5%
  - 20時間未満 3万5千円
  - 支払い形態 月給28.3% 日給4.9% 時給65.9%
- 3、精神障害者 1か月平均15万4千円(超勤除く)
  - 通常(30時間以上) 19万6千円 構成比率68.9%
  - 20時間以上30時間未満 8万3千円 構成比率26.2%
  - 20時間未満 4万7千円
  - 支払い形態 月給44.0% 日給3.2% 時給51.7%

# 地域生活を支えるサービスの実態

## 1、居宅支援事業所

- ・事業所維持が大変
- ・ヘルパー不足
- ・ヘルパーの高齢化

## 国分寺市けやきの杜事業所の実態(27年度実績)

### 1、居宅支援(身体・家事等)

5. 692時間 (目標6. 100時間)

### 2、移動支援

10. 548時間(目標13. 000時間)

### 3、短期入所事業

1. 517日(国分寺市)

12.523時間(緊急一時 府中市)

# グループホームの新たな考え方

今までは、GHの選択を場所を中心としていたが、自分の時間や空間に加えて、誰と共同の生活をするかの選択が必要となっている。

- 1、誰と共同生活をするかは、当事者にとって重要な要素。
- 2、ワンルームマンション利用から学んだこと。
- 3、一昨年ヘレンケラーの方の入れるGHを作って、学んだこと。

# 新たに働くことを作り出す

- 1、短時間労働就労に負けない就労継続事業所作りは可能。
  - ・優先調達
  - ・地域商工会との連携
  - ・施設との連携
  - ・地域性を考慮した作業種
- 2、考え方や意識を変える。
  - ・忙しいと利用者ではなく、職員でする。
  - ・利用者まで手が回らない。
  - ・土日は休み。9時から5時まで。
- 3、地域で経済行為を行う。障害者の前にお客様。



# 地域で暮らし続けるために

## 支援員用

制度は、活用しないと生きない。

連携は、動かないと繋がらない。

トラブルが起きるから、解決が生まれる。

やるしかないから、前に進める。